

(令和2年7月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	7月 は、梅雨による時化の影響で鮮魚の入荷量が少なかったことから、総入荷量は前年同月比で9%下回った。総取扱金額は、新型コロナウイルス感染拡大の影響であまだいやちりめんなど業務用の需要が低迷したことから、前年同月比で14%下回った。 8月 は、たちうおが旬を迎える。たちうおはこの時期、産卵に備え身が肥え脂のりが抜群である。調理法は塩焼きやムニエルがよく知られているが、鮮度がよいものは刺身や炙りも絶品である。是非、お試しいただきたい。
鮮 魚	鮮魚の入荷量は前年同月比で12%下回ったが、単価は新型コロナウイルス感染拡大の影響で全体的に需要が低迷したことから3%下回った。 品目別には、よこわ、かつおの入荷量は前年同月を下回り単価は上回った。あまだい、まだい（養成）の入荷量は前年同月を下回ったが、単価は需要が低迷したことから下回った。
冷 凍 魚	冷凍魚の入荷量は前年同月比で7%下回ったが、単価は新型コロナウイルス感染拡大の影響で全体的に需要が低迷したことから5%下回った。 品目別には、冷さけの入荷量は前年同月並みとなったが、単価は下回った。冷えびの入荷量は前年同月を下回ったが、単価は需要が低迷したことから前年同月並みとなった。
加 工 水 産 物	加工水産物の入荷量は前年同月並みとなったが、単価は新型コロナウイルス感染拡大の影響で全体的に需要が低迷したことから8%下回った。 品目別には、塩さばの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。ちりめんの入荷量は前年同月を下回ったが、単価は需要が低迷したことから下回った。

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚)	
ま あ じ	宮城，和歌山，京都で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で２４％下回り，単価は２４％上回った。
ま い わ し	愛知，大阪で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で２４％下回ったが，単価は中小型主体の入荷となったことから前年同月並みとなった。
さ ば	宮城，鹿児島，千葉で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で３９％下回ったが，単価は小型主体の入荷となったことから４％下回った。
す る め い か	石川で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で１４％上回ったが，単価は中型主体の入荷となったことから前年同月並みとなった。
太 物	総入荷量，単価ともに前年同月並みとなった。
は も （ 近 ）	愛媛，兵庫で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は水揚げ量の減少から前年同月比で３２％下回り，単価は２２％上回った。
た こ	岡山で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で２９％上回り，単価は３３％下回った。

※太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量，単価ともに前年同月並みとなった。
冷 す る め い か	生鮮するめいかの順調な水揚げから入荷量は前年同月比で72%下回り，単価は28%上回った。
(加工水産物)	
塩 さ け	入荷量は前年同月並みとなったが，単価は，塩紅さけの需要が低迷したことから17%下回った。
開 干 あ じ	入荷量は前年同月比で28%下回り，単価は17%上回った。